



保育所だより



令和2年10月号

中部保育所

TEL.63-3221 090-5693-1233

朝夕めっきりと涼しくなり、風に揺れるすすきや虫の音が秋の深まりを感じさせます。

今月の運動会に向けて、いろいろな動きが体験できるよう、体を動かす遊びを楽しんでいます。かけっこやリレーでは、土を蹴って思いきり走ったり、巧技台を上げてジャンプしたり、バランスをとりながら平均台を渡ったりして、年齢ごとに工夫しながら運動しています。そして、繰り返し遊ぶ中で「手を振って走ってみよう」「もっとはやく走りたい」と意欲的に取り組んでいますよ。また、年齢の異なる友だちとペアになって入場行進や体操をし、いろいろな友だちと関わる経験もしています。自分より小さい友だちの手を引き優しく声をかける姿や、自分より大きいクラスの友だちを見て「かっこいいな」「やってみたいな」と憧れの気持ちを抱いている様子も見られます。

今後も、様々な友だちと関わる中で相手を思いやる気持ちを大切に、「一緒に遊ぶとたのしいな」などの思いが感じられるようにしたいと思います。そして、それぞれの年齢に応じた運動遊びを取り入れ、思いきり体を動かし元気に過ごせるようにしていきます。3日の運動会では、子どもたちの一生懸命な姿に温かい声援をよろしくお願ひいたします。

10月の行事予定

- 1日(木) お集まり会 安全の日
巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 3日(土) 運動会
- 5日(月)~9日(金) 身体測定週
- 6日(火) あいさつ運動
5歳児交流保育(於:北部保育所)
内科健診①(りす・ことり・ひよこ組)
- 7日(水) 交通安全教室(きりん・ぱんだ・うさぎ組)
- 8日(木) 一日保育士④
- 9日(金) ◆所外保育(りす組)
- 14日(水) クッキング:さんま焼き(きりん・ぱんだ・うさぎ組)
- 15日(木) 弁当の日 ◆遠足(きりん・ぱんだ・うさぎ組)
- 17日(土) ファミリーくらぶ
- 20日(火) 誕生会 集金日
- 21日(水) 5歳児3施設交流保育(於:わにぶち保育所)
内科健診②(きりん・ぱんだ・うさぎ組)
保育所開放日②・給食試食会
- 22日(木) 避難訓練
- 25日(日) 久多美フェスタ(ぱんだ・きりん組作品展示)
- 27日(火) わくわくデー:さつま芋掘り
於:天神花公園横(きりん・ぱんだ・うさぎ組)
- 29日(木) わくわくデー:さつま芋掘り予備日
- 30日(金) 布団持ち帰り日

11月の主な予定

- 11日(水) ◆一日保育士⑤
◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



*内科健診について(6日・21日)

嘱託医の及川医師に来て頂き保育所で受けます。保護者の付き添いはありません。なお結果については個別にお知らせします。

*遠足について(15日)

きりん組・ぱんだ組は電車で、うさぎ組は小型バスに乗って遠足へ出かけます。詳しくは後日おたよりを配布します。

*久多美フェスタ開催について(25日)

久多美コミセンにて、9:00~15:00の間、きりん・ぱんだ組の作品を展示しますのでどうぞお出かけください。

*掛け布団の持ち出しについて

お昼寝用の掛け布団の準備ができましたら持ち出しをお願いします。なお、タオルケットももうしばらく併用します。10月から布団の持ち帰りは月1回です。

職員について

10月より、岩成咲子副主任は北部保育所から異動し、ひよこ2グループの担任として勤務します。

ご寄贈ありがとうございました

- ・保護者様~栗
- ・久多美地区交通安全協会様~ヤクルト

職員出張のお知らせ

- ▽午前の研修 △午後の研修
- 14日 中堅スキルアップ研修~吉岡
- 18日 早期支援体制づくり研修~浅野
- 22日△聴覚障がい早期教育研修会~平野
- 28・29日 鳥根県認可保育園(所)理事長会研修~黒日
- 29日△子ども健康フォーラム~角

保育目標~〇体を十分に動かして遊ぼう。

気候の良い時期ですので、戸外へ出かけて体をしっかりと動かして遊びたいと思います。走る・とぶ・登る・くぐるなどの様々な動きを経験しながら、年齢に合った遊びを工夫していきます。

〇秋の自然に触れて遊ぼう。

戸外遊びや散歩に出かけて、秋の草花や木の実、虫など身近な自然に触れながら遊びに取り入れます。また、自然の変化にも気づいたりできるよう働きかけていきます。

生活目標~〇薄着で過ごそう。

薄着の習慣をつけると皮膚が鍛えられ丈夫な身体になります。少々肌寒くても、動くときから温まる経験をしたいと思います。登降所時に寒と感じる場合には、上着を一枚羽織るなどして調節をしましょう。



異年齢での活動を楽しんでいます♪

9月23日(水)に、うさぎ組以上で運動会ごっこを行いました。玉入れ、綱引き、バトンリレーなどをし、小さいクラスの子どもたちも応援に来てにぎやかな運動会ごっこでしたよ。きりん組は、年下の友だちをリードし、とても頼もしい姿が見られました。

これまで中よしデーの様々な活動を通して、異年齢のかかわりを深めてきました。その中で、年下の子どもへのいたわりや思いやり、年上の子どもへの憧れから、お兄さんお姉さんのようにやりたいという意欲などが、お互いに育っていくのだと感じています。

これからも異年齢で過ごす時間を大切に、ふれあったりやりとりをしたりする中で、『人とかかわる力』が育ってほしいと願っています。

☆子育てのヒント

「人権・同和教育について考える」

講師: 出雲市人権同和政策課 同和教育啓発指導員 石倉 氏

先日、石倉先生に講師をしていただき職員研修を行いました。久多美地区が、令和元年度・2年度出雲市同和教育研究の指定を受け、中部保育所でも日ごろから人権教育を意識して保育を行っています。子どもたちの人権意識を育てるために私たち大人は何をすればよいのか考えながら進めているところです。石倉先生より、人権・同和教育に関するお話を聞かせていただきましたので、一部ご紹介いたします。

『同和教育』とは・・・

- 同和問題の解決を目的とした教育
- ・同和問題 ・様々な人権問題の学習
- ・人権意識を高める取組
- ・差別をなくす意欲と実践力
- ・進路保障の取組

※すべての子どもたちの進路を阻む要因を取り除き、将来をたくましく切り開いていく意欲と実践力を身につける。

みんなの幸せ 身近なもの、大切なもの
なくてはならないもの

侵害されることも・・・「差別」

- ・子どもを守るのは大人です。
- ・子どもは、大人をモデルとします。
- ・子どもは、大人に支えられ徐々に身の回りのことなど身につけていくものです。

今後も保護者の皆様と共に、子どもを守り、成長を支えていきたいと思っています。

※年度当初、事業計画でお知らせしていましたが、11月28日(土)久多美地区人権同和教育発表会での保育公開は中止となり、全体研修会をさく小学校で行うこととなりました。